



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告

2021年8月8日
No. 342

安藤たい作

ニュース

バックナンバー 品川 安藤たい作ニュース 検索



twitter

@andotai

saku

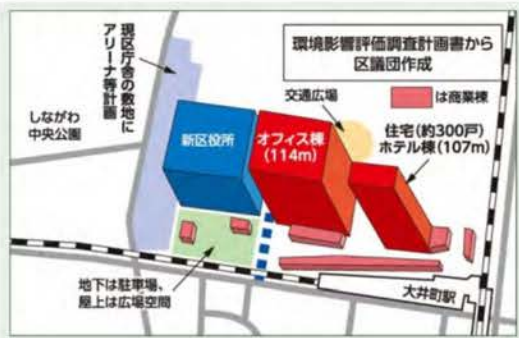


見事なまでの海苔弁

漫画: 安藤たい作

開発の都合最優先・よこしまな「検討」

新庁舎検討は区民的議論で



上) 区がJRと進める広町地区周辺の「まちづくり」イメージ図 下) 現在の広町地区



区は、土地交換を実現する区画整理事業を今年度中に行う考え。新庁舎の検討は初めから大井町開発の都合が最優先なのです。(裏へ)

開発を動かす事としたのです。

◆新庁舎「検討」は、大井町の開発の都合が最優先
なぜコロナ禍のもと区民要望もなく、かつ10年前に耐震工事を施し少なくともあと15年もつ庁舎の建て替えを区は急ぐのか。それは、来年度着工を狙うJR東日本の再開発の都合に他なりません。区は悲願だった大井町再開発を動かす

ため、13年からJRと密室で共同検討を続け、18年夏に協定書を締結。駅前一等地の区有地(現在の旧ひろまち保育園・劇団四季の土地)の土地交換を行い、更に、区役所を建て替え跡地にアリーナ等集客施設を建設することで、ホテルやオフィス、賃貸マンションなどの開発価値向上をもちかけることで

新庁舎建設の検討が区民的議論が抜け落ちたまま、急ピッチで進められています。区は昨年の機能検討委員会に続き、今年度、学識経験者や区内団体代表、公募区民等19名で構成される基本構想・計画策定委員会を設置(私・安藤も議会代表委員の一人)し、11月に答申を受け、年内に基本構想を決定しようとしています。

ニュースへのご感想をお寄せください

FAX 3778-3088
taisakuando19740217@gmail.com

*当ニュースは、議会活動および区政に関する政策等の広報活動に要する経費等をまかなう「政務活動費」で発行されています

建設候補地



現在の庁舎の東側、スポル品川大井町の北側です。

◆区は8月中に建設候補地の事実上の決定を狙う

JR広町開発をスケジュール通り進めるため、区は次回の検討委員会で庁舎の「想定規模」「建設候補地」を提案し、基本的な了承を得る考え。十分な区民的議論もなく、JRと事前に合意を済ませた土地交換による建設予定地(左図・8300㎡)が事実上決定されれば、現在の庁舎敷地(約1万3500㎡)から大幅に狭くなり、新庁舎は超

高層ビルにならざるをえなくなります。

平常時の区民の利便性にとっても、震災時のエレベーター停止など非常時においても、頻繁かつ大きな縦移動が伴う超高層の庁舎は問題が多く、避けるべきです。そうした観点から世田谷区では、「基本設計の基本的な考え方」の中に、「上下移動が少ない低層型庁舎」と盛り込んでいます。

◆庁舎建て替への検討の議論に区民の監視の目を

庁舎は区民のものであり、自治や交流・防災の拠点となるべき建物です。今の区役所に望むものや課題は何か。どんな機能を入れるか。それを実現する上でどんな敷地にどのような建物を建てるのか。全て区民との繰り返し相互方向の議論の上、決定されるべき内容です。

ところが庁舎建て替え検討自体が、長年黒塗り・非公開、JRとの密

室で進められてきた上、去年から設置された検討会も回数や時間が極めて限られ実質的な審議は極めて不十分。その上、報告会やシンポジウムすらされていません。結果、区民は庁舎の建て替え議論がされているという事すらほとんど知らないというのが現状なのです。わずかに行われているといえれば密かに開設されているホームページでの意見募集(左)。それすら「個別の回答は致しません」と注意書きされるありさまです。とはいえ活用すべきは活用すべきですが、次回検討会の傍聴にもお越しいただき、候補地の決定という既成事実の積み重ねを許さない世論と監視の目を強めていきましょつ。

新庁舎整備に関する意見をお寄せ下さい

★区ホームページから意見を出せます
①品川区ホームページから[検索]で「新庁舎」と入力
②「新庁舎整備」ページを選び、「品川区新庁舎整備についてのご意見を募集しています」の項目から、意見フォームに入れます。

第3回新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会
8月26日(木)午後2～4時

場所:区役所内会議室

傍聴は、開会前迄に区役所6階の経理課 庁舎計画担当まで申請下さい。



8月無料法律相談会 8/17(火) 18:30～20:30 【会場】安藤たい作事務所
【主催】共産党品川地区委員会 * 予約制(5742-6818(控室)または3491-3230(事務所))